

学びの未来図 - 筑駒改修・大塚特別支援学校との共生 -

多様な学習スペースの提案

オープンスペース



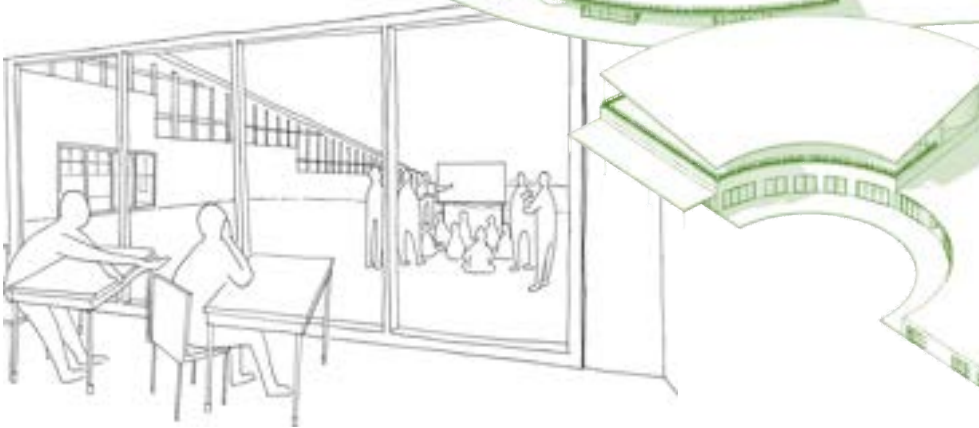
各教室の外には、窪地が設けられ、読書や自習を行う場を想定している。廊下には、学生同士や教師とのコミュニケーションの活発化を実現させるために家具を配置する。

Creative Resource Hub

creative resource hub は、図書館に音楽室と美術室が併設されている施設である。筑駒生と大塚生が交流するコモンズとしての役割をもつ。

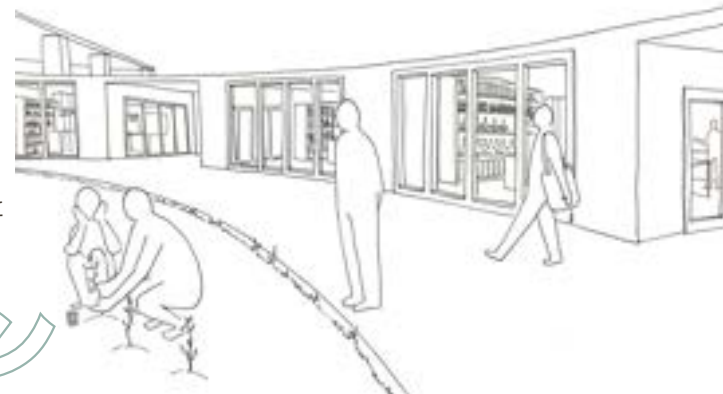


青空教室



サイエンスゾーン

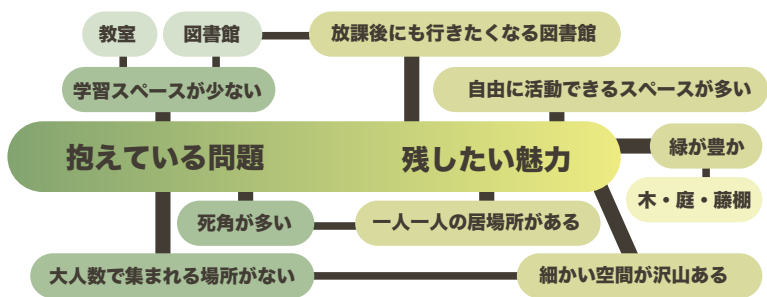
化学、物理、生物、地学の実験室が集められたサイエンスゾーンは、芝生エリアを囲むように設けた。野外での実験や、授業行可能になり、学習の幅が広がる。



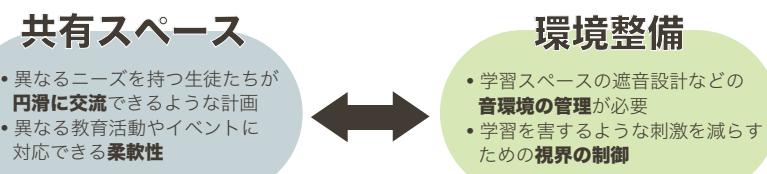
敷地

現 筑波大学附属駒場中学・高等学校
東京都世田谷区池尻4丁目7-1
住宅街に位置する

筑駒の現状



大塚との共生



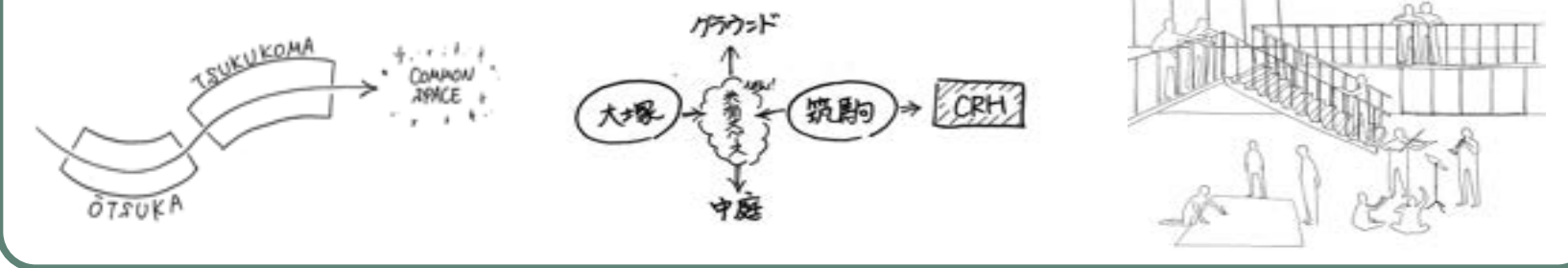
設計の意図

大塚特別支援学校は、幼稚部から高等部まで幅広い年齢層であり、特別な設備が必要のため、十分な安全性を確保するにあたり「大塚→筑駒」へという配置にした。

コモンズである Creative Resource Hub を2校の間ではなく、端に配置することによって、意図していない自然な共有スペースが生まれる。

その空間は屋外にあるため、行事の準備や昼休みといった、比較的リラックスした状態での交流となり、CRHとは異なる人間関係の形成が期待できる。

配置の意図

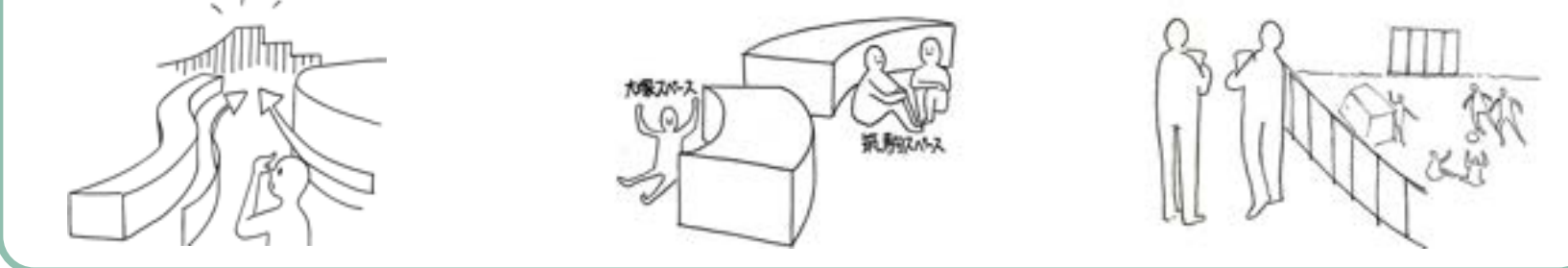


形の意図

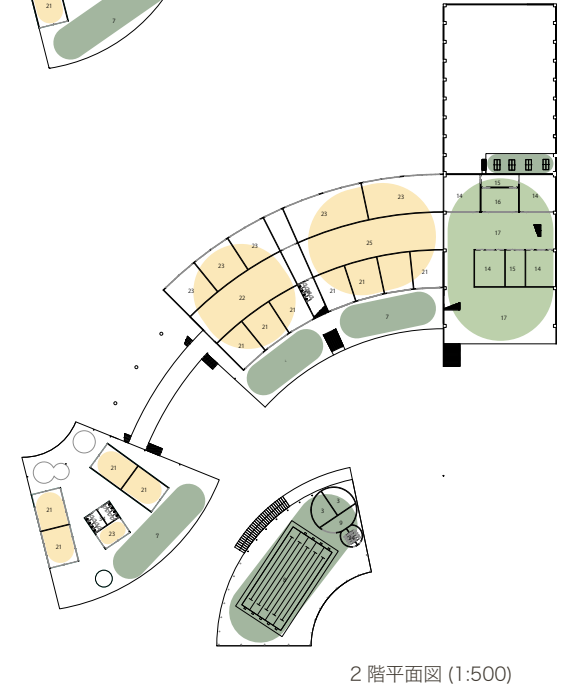
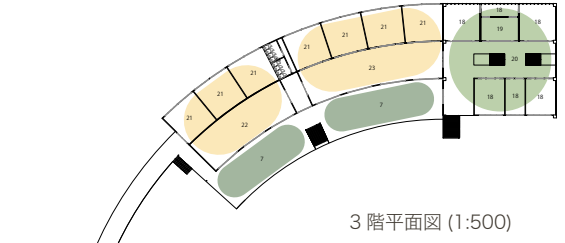
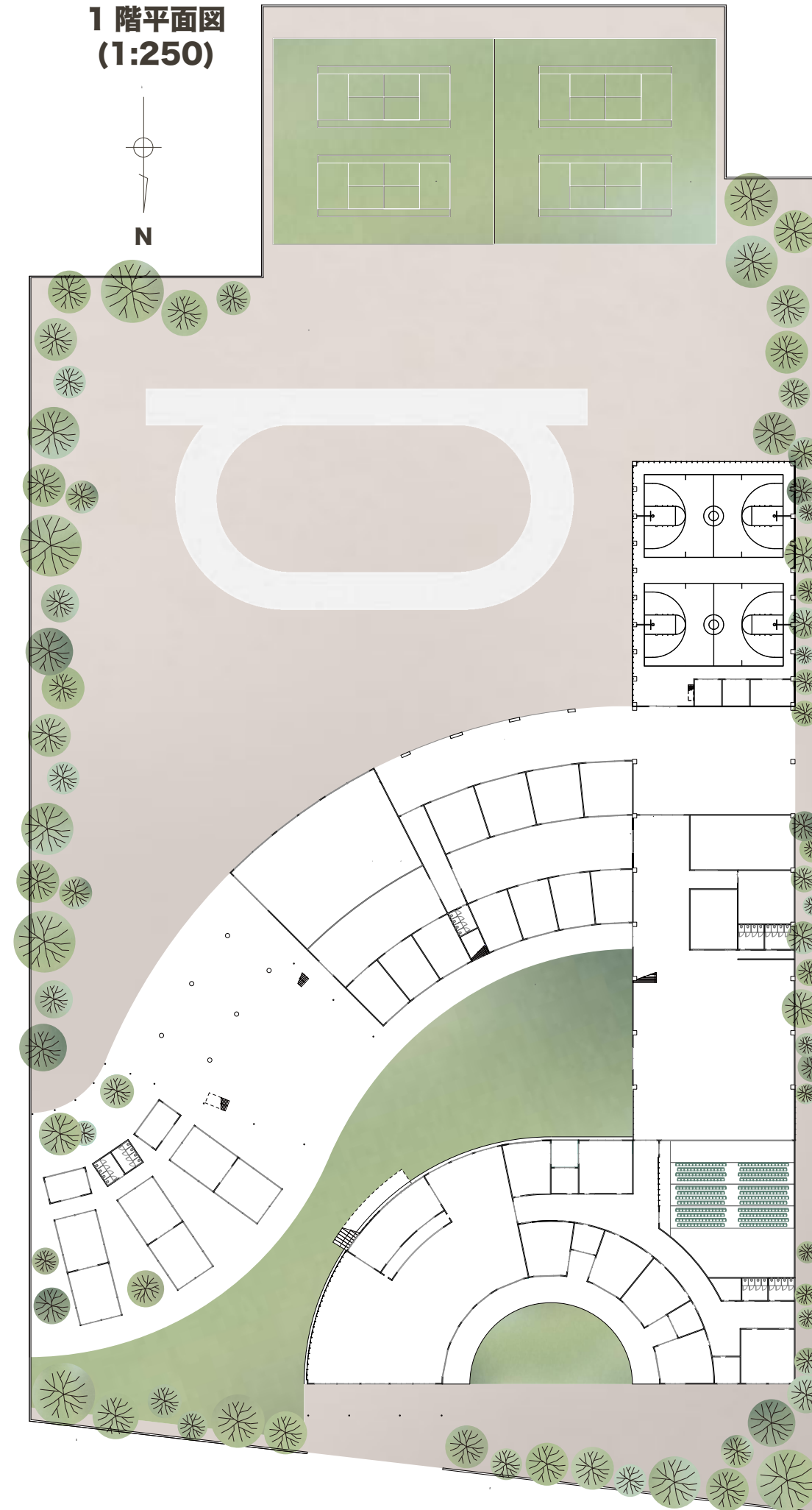
敷地へと誘い込むような緩やかなカーブを用い、その先には、共有部分であるコモンズを配置した。

同じ敷地内にあるものの、二つの学校という存在を意識するために、2つのカーブでそれぞれの空間を生み出すとともに、一体感をもたらした。

どこにいても、互いの気配が感じられるように、屋外空間を囲むような形状にした。



1階平面図 (1:250)



- 外 / 体育系
 - テニスコート...従来の築駒にあるテニスコート4面を残す
 - 体育館...バスケットコート2面に、2階は卓球スペース
 - 更衣室
 - グラウンド...200mトラックに幼児が遊べる遊具
 - ピロティ...文化祭の作業スペースとして使える
 - 中庭...筑駒生の中庭、大塚生の中庭ありそれらは繋がっている
 - 青空教室...各教室の外にある「オープンスペース×ベランダ」
 - プール
 - シャワー室

- Creative Resource Hub
 - 事務室
 - 会議室
 - 自習室...朝の時間に使うことができるように学校の西門付近に位置する
 - 図書スペース
 - 美術室
 - 美術準備室
 - 美術教室
 - 美術エリア...美術室フロアに位置する
 - 音楽室
 - 音楽教室
 - 音楽エリア...音楽室フロアに位置する

- 教室棟
 - 教室
 - オープンスペース
 - 特別活動教室
 - 職員室
 - 高校生HB...高校生は教科用であるため、メインの居場所となる
 - 保健室
 - コンピュータ室

- コモンズ
 - 視聴覚室
 - 理科室...化学、物理、生物、地学の実験室がある
 - 理科教室
 - 食堂...正門(北門)に近いので、コミュニティスペースともなる
 - 調理室

- その他
 - 倉庫
 - WC